リーディングDXスクール事業 【実践事例一覧】

江田島市立大柿中学校(広島県)

取組内容	実践事例の概要	様式
1	「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実につながるクロームブック活用」 ・生徒が学習形態(個別でクロームブックで学びポケットサイトを活用、小グループで学び合い、 担当教師と小グループ学習)を自己決定し、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な 充実を図る。	B-1
1	「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実につながるクロームブック活用」 ・生徒が使用するジャムボードのシートをクラウド上で共有して、個の考えを班で共有し、グルー プ分けして、クラス全体で共有する工夫	B-2
2	「インターネット上の動画教材や、授業において動画撮影した動画の活用授業の実施」・授業の内容に応じてNHKforSchoolなどの動画教材を活用して、学習内容への興味関心を高めるとともに、学力向上を図る。体育の授業で、実技を行う中で、個別の実技の動画を撮影して自分の実技をその場で動画で確認することから、課題発見解決学習の充実を図る。	B-3
4	「職員の情報共有のための活用」 ・SSR(スペシャル・サポート・ルーム:不登校傾向、教室に入ることができない生徒のための教室)に在籍している生徒の教室での様子をクロームブックのスプレットシートで共有	B-4
3	「端末の日常的な持ち帰りによる家庭学習の充実」 ・クロームブックを日常的に持ち帰り、学びポケットサイトやその他の学習支援サイトを活用した家庭学習の充実を図る。	B-5
	ГJ •	
	Г <u>ј</u>	
	ГЈ	

【取組内容●】「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実につながるクロームブック活用」

【実施内容の具体】

- 1 学習課題を把握する。単元ごとに見通しをもたせ振り返りを行う学習計画シートを活用する。
- 2 次の①から③の学習形態の中で自ら学び方を決定する。
 - ①個別に「学習支援アプリ:学びポケット」内の動画説明を活用して、学習課題の学習を行う。
 - ②小グループで協働的に学び合って学習 課題の学習を行う。
 - ③担当教員とともに学習課題の学習を行う。
- 3 各学習形態で自由進度学習を行う。
- 4 各自、振り返りを行い、自己評価する。









①個別に動画説明を活用した個別最適な学び

- 1 自ら選択した学習形態により学習意欲が向上し、主体的な学習 につながってきている。
- 2 学習支援アプリ:学びポケットなどを主体的に活用し、意欲を もって自学する生徒が増えてきた。
- 3 学習意欲に課題の見られた生徒についても自ら選択した学習形態で目的意識をもって学習するようになってきた。
- 4 協働的に学ぶ姿が増えるようになった。



【取組内容●】 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実につながるクロームブック活用

【実施内容の具体】

- 1 学習課題を把握する。
- 2 個の考えをジャムボードに出し合う。
- 3 班内で個の考えを交流して、それをグループ 分けして班の考えをまとめる。
 - ※それぞれの考えの違いを、色分けして示すこと で分類しやすくする。
- 4 全体交流して学習課題の解決を図る。
 - ※電子黒板に各班のジャムボードのまとめを出して全体共有を図る。

【学校として取り組んだことによる効果】

1 ジャムボード等のアプリの使用について、生徒 たちは、すぐに慣れて活用できる力をもっている ことが分かった。

教師にとっては、生徒よりも慣れるのに時間がかかるが、以前は付箋を使って行っていた取組をクロームブック上で行うことから、それほど違和感なく、活用できるようになっている。

2 教科学習だけでなく、総合的な学習などでも ジャムボードを使うことで、個の考えや集団の考 えを共有して深めることが容易にできるように なった。





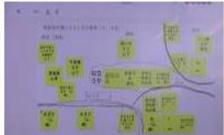












【取組内容●】インターネット上の動画教材や、授業において動画撮影した動画の活用授業の実施

【実施内容の具体】

○ 小単元の学習を終えた後の学習内容の定着を図る学習において、タ レントによるクイズ動画を活用する。

【学校として取り組んだことによる効果】

- 1 タレントによる学習動画は、生徒にとって興味・関心が高まり、学習内容の定着にも効果が見られた。
- 2 教員同士でこのような動画教材を見つけることにもつながり、授業 の工夫の幅が広がった。

学習に関するクイズ動画

【実施内容の具体】

- 1 実技教科において、学習課題を把握する。
- 2 2人から数名の小グループをつくり、各自の実技の演技をクロームブックでお互いに撮影し合う。
- 3 授業の終了までに各自が実技動画を担当教員に提出する。

- 1 実技教科において、自分の実技を動画で 授業内に視聴することで、客観的に自分の 実技の課題を見つけ、解決するための方策 を協働的に学び合う学習を仕組むことがで きた。
- 2 時間内に自分の納得した実技動画を提出 することから、課題を確認しながら何度も 実技を行い、主体的な学習につながった。





【取組内容●】 インターネット上の動画教材や、授業において動画撮影した動画の活用授業の実施

【実施内容の具体】

○ 小単元の学習を終えた後の学習内容の定着を図る学習において、タ レントによるクイズ動画を活用する。

【学校として取り組んだことによる効果】

- 1 タレントによる学習動画は、生徒にとって興味・関心が高まり、学習内容の定着にも効果が見られた。
- 2 教員同士でこのような動画教材を見つけることにもつながり、授業 の工夫の幅が広がった。

学習に関するクイズ動画

【実施内容の具体】

- 1 実技教科において、学習課題を把握する。
- 2 2人から数名の小グループをつくり、各自の実技の演技をクロームブックでお互いに撮影し合う。
- 3 授業の終了までに各自が実技動画を担当教員に提出する。

- 1 実技教科において、自分の実技を動画で 授業内に視聴することで、客観的に自分の 実技の課題を見つけ、解決するための方策 を協働的に学び合う学習を仕組むことがで きた。
- 2 時間内に自分の納得した実技動画を提出 することから、課題を確認しながら何度も 実技を行い、主体的な学習につながった。





【取組内容●】 職員の情報共有のための活用、アンケート等での活用

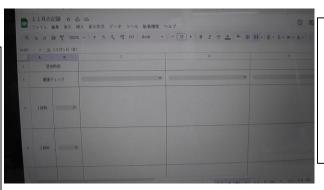
【実施内容の具体】

- 1 朝の会で行う健康観察をクロームブックで行う。
- 2 別室登校生徒(SSR教室在籍生徒)の登校状況や、別室での活動状況などの記録をクローム ブック内に記入し、教職員の情報共有を図る。
- 3 児童生徒のいじめ・体罰・セクハラに関するアンケートなどをクロームブックで行う。



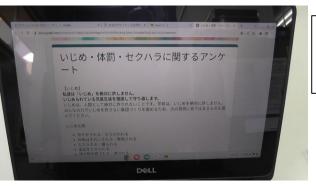
【学校として取り組んだことによる効果】

- 1 朝の会の始まる前から、生徒たちは個別に健康 観察をクロームブックで行うことが習慣になり、 全体の生徒の健康状態の把握と内容の集計が容易 にできるようになった。
- 2 別室登校の生徒の活動状況がいつでも閲覧して 確認できるようになった。このことで、関係教職 員で各生徒に応じた指導について随時協議して組 織的な取組につなげることができるようになった。
- 3 アンケート等の取組をクロームブックで行うことで、提出状況の把握や内容の把握を迅速に行うことができ、用紙で行っていたころよりも早期対応することができるようになった。



別室登校生徒の活動記録の様式

クロームブック の教師用クラス ルームで共有



いじめ・体罰・ セクハラに関す るアンケート

【取組内容●】端末の日常的な持ち帰りによる家庭学習の充実

【実施内容の具体】

- 1 端末(クロームブック)の持ち帰りによる学習 学校で行っているクロームブックを活用した学習を家庭 学習で活用させる。
 - ①授業の予習・復習
 - クラスルーム内にあるデータやインターネットを活用 した調べ学習。
 - 学びポケットによる学習内容の動画の活用。
 - ②認知機能トレーニング「オンライン・コグトレ」などの 活用。

- 1 実技教科において、事前に実習内容や実技テストの動画をクラスルームに投稿し、予習を行えるようにすると、事前に動画で手順や方法などを自主的に予習して、実習をスムーズに行うことができた。
- 2 家庭学習における学びポケット等の活用や、学校での授業のつながりを持たせる効果が見られた。
- 3 認知機能トレーニングの「コグトレオンライン」を行う 生徒が増えてきている。





学びポケットによる学習



コグトレオンラインの取組